

足利市の人権擁護委員活動を紹介します



人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間の人たちで、現在約1万4千名の人権擁護委員が全国の市町村に配置されています。

人権擁護委員は、法務局と連携して、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、人権侵害の被害者を救済したり、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行っています。

足利市には、13名の人権擁護委員が配置され、市と協力して人権啓発活動などを行っています。

相談活動



「人権なんでも相談」(市民相談室)

啓発活動



小学生人権書道を審査

部会活動



活動内容などを協議

創刊にあたって



足利市長
和泉 聡

このたび人権推進広報紙「おもいやり」を創刊する運びとなりました。この広報紙は、人権尊重の理念をより多くの市民の皆様とともに考えていけるよう発行するものです。

本市では、市民一人ひとりが基本的

人権を尊重し、お互いの存在や違いを認め合い、支え合い、そして共に生きることのできる社会の形成をめざして、人権問題を解決するための施策を進めてまいりました。また、この4月には「足利市人権教育・啓発推進行動計画〔第4期計画〕」をスタートさせ、様々な人権問題に対して教育・啓発にかか

る課題への対応を総合的かつ効果的に推進しております。

人権問題への取り組みは、市政の重要な施策です。今後も、人権擁護委員協議会をはじめとする各種団体の皆様と協力し、教育・啓発に積極的に取り組むと共に、この新しい「おもいやり」が人権尊重のまちづくりを推進する力となるよう努めてまいります。

「人権は歴史を持たない」 —その本質と価値—



足利市人権推進
審議会
会長
岩佐 富男様

1. 人権は、生物学的人間と社会学的人間との葛藤の中で生まれ、人類の多年に亘る努力によって、今や、人類普遍の時空を超えた原理とされ、憲法の中に生かされています。人権は、実は、憲法に書かれていなくても(イギリス)国家がなくても、存在するとされる真理なのであります。

2. "He is strange." は、アメリカでは「個性的だ。」という意味で称賛されますが、わが国では「彼は変だ。」と訳されいじめの対象となります。「いじめ」は「Bullying (英)」と異なり、陰湿さが加わります。「見て見ぬふり」の「不作為によるいじめ」は、当事者の認識が低いのみならず、「作為によるいじめ」を助長します。上司や強者の責務は重いものであります。

3. 「歴史を持たない」とされる人権は、言語や論理のように、後天的な教育・啓発によってのみ、意識づけられます。私達には、未来永劫、教育・啓発の断続の努力が必要です。この度の、広報紙創刊がその一助となることを切に願っています。

「広報紙創刊に寄せて」



足利市人権擁護委員協議会
足利部会
部会長
阿由葉 榮二様

人権擁護委員は法務大臣より委嘱を受け、市民の困りごとや悩みに法務局や市役所で相談を真摯に受けています。

一人で悩まずお気軽にお出でください。

法務局では毎週水、木曜日午前9時30分～午後4時まで、市役所市民相談室では第3金曜日午後1時～4時までです。

人権とは難しいことはありません。相手を認め、思いやり(恕)をもって生きることです。

啓発活動



8月「いのち・愛・人権」展会場で啓発

祝辞



宇都宮地方方法務局
足利支局
支局長
神山 秀昭様

この度の足利市人権推進広報紙の創刊にあたり、お祝い申し上げます。

「人権」とは、「全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」であり、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」です。これは、それぞれが日常の思いやりの心によって守られるものです。

現在、私たちの周りでは人権に関わる様々な問題が起きています。法務局は国の行政機関として、このような問題が起きないように「人権」についての理解を深めるための活動や、相談、人権侵害事件が発生してしまった場合の救済手続を行っています。

本広報紙を通じて、足利市に暮らす人々が、家庭、学校あるいは職場で、もう一度「人権」について考えていただくきっかけになることを願っています。

祝辞



足利市人権擁護委員
協議会
会長
藤波 一博様

このたび、足利市人権推進広報紙を創刊されるにあたり、まずお祝いを申し上げます。

当協議会では、人権相談・啓発活動・研修会を通じて、人権擁護の推進を図ってまいりました。人権作文や子どもの人権ポスター絵画コンテストでは、足利市・佐野市の小中学校から毎年多くの素晴らしい作品を応募頂いております。子どもたちに豊かな人権感覚を身に付けていただきたいという願いを込め、今後も続けていければと考えております。

さて、今年11月5日に「ヒューマンフェスタとちぎ2016 in 佐野」が佐野市で開催され、足利市からも多くのご来場をいただきました。企画・運営に携わった方々、ご参加いただいた皆様にお礼申し上げます。

私たちは、人権擁護委員活動に携わり、日々「声なき声」の存在を意識してまいりました。これからも、弱者、困窮者への、理解・援助・自立への働きかけをお手伝いできればと思っています。

結びに、人権啓発活動推進の希望となる広報紙のこれからの発展を祈念し、祝辞といたします。